

2025 年 6 月 19 日

箱根駅伝に関する新たな取り組みについて

一般社団法人関東学生陸上競技連盟

2025 年 6 月 10 日開催の本連盟理事会において、本連盟が主催する「東京箱根間往復大学駅伝競走」（箱根駅伝）について以下の内容を決定しましたので、お知らせします。

1 各校オリジナル出場記念グッズの開始

第 102 回大会から、従来のオフィシャルグッズに加えて、本選にチームで出場する各大学に、「箱根駅伝」の名称及びロゴを使用したオリジナル出場記念グッズの企画・販売を認めることとします。一定のルールのもと自治体・企業等とのタイアップも可能です。

出場大学やその選手を応援いただく皆さまに、いっそうその応援を楽しんでいただくための取り組みです。各大学の創意工夫を期待しています。

販売期間は、2025 年 11 月 1 日の開始を予定しています。各校のグッズなどの詳細は、追ってお知らせいたします、

2 関東学生連合チーム（16 名）の編成方法の変更

第 102 回大会から、関東学生連合チーム 16 名を、以下のとおり、①「チーム枠 10 名」と「その他個人枠 6 名」で編成するとともに、②出走の上限回数を 1 回から 2 回に変更します。なお、外国人留学生選手は対象としない点に変更はありません。

変更前	① 予選会の落選校の所属選手のうち、各校 1 名で、予選会個人順位の上位 16 名で編成する。 ② 本選において単独チーム又は連合チームで既に 1 回以上の出走経験がある選手は、上記①の対象から除外する。
変更後	① 予選会の落選校の中で <u>上位 10 大学（予選会総合 11 位～20 位）に 1 枠ずつ与えて 12 月上旬のエントリー締切までに各校内で選出された選手と、それ以外の大学（予選会総合 21 位以下）の所属選手のうち各校 1 名で予選会個人順位の上位 6 名との、合計 16 名で編成する。</u> ② 本選において単独チーム又は連合チームで既に <u>2 回</u> 以上の出走経験がある選手は、上記①の対象から除外する。

上記①は、予選会終了後も落選校内において個人での本選出場を目指した切磋琢磨を生むこと（＝チーム枠）と、チーム順位は下位でも出場を可能とすることによる多様性の確保（＝その他個人枠）との両立を図るものです。

上記②は、経験の幅広い共有と、箱根駅伝を通じた選手強化の両立を図るものです。

箱根駅伝は、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、進化を続けてまいります。ますますの熱い応援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上